

会 議 録

- 1 会議名
平成 29 年度 第 2 回上越市地域包括支援センター運営協議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - 1 平成 29 年度地域包括支援センター活動実施報告（公開）
 - (1) 平成 29 年度地域包括ケアシステム構築に向けた取組
 - (2) 上越市における新総合事業の取組について
 - (3) 高齢者虐待の状況について
 - (4) 認知症初期集中支援チームの取組について
 - 2 平成 30 年度地域包括支援センター委託事業(案)について(公開)
 - (1) 平成 30 年度地域包括支援センター重点事業(案)について
 - (2) 平成 30 年度地域包括支援センター委託料(案)について
 - (3) 地域包括支援センター運営方針(案)
 - 3 地域包括支援センターの再配置について(公開)
 - (1) 平成 30 年 4 月からの地域包括支援センターの配置について
 - (2) 地域包括支援センター業務引継の状況及び予定について
 - 4 その他
- 3 開催日時
平成 30 年 2 月 8 日（木）午後 7 時から午後 8 時 30 分
- 4 開催場所
上越市役所 401 会議室
- 5 傍聴人の数
0 人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委 員：揚石義夫、原等子、山田弘子、入倉康之、木梨みのり、田中美紀、竹内明美、馬場隆信、杉田みゆき、佐藤貴規、片岡敏明、青山隆一、押山貴光、田中公彦
 - ・事務局：八木健康福祉部長、横田高齢者支援課長、福田副課長、細谷介護指導係長、菅井社会福祉士
- 8 発言の内容
 - 1 平成 29 年度地域包括支援センター活動実施報告

【事務局】 (資料 1-1～1-4 により説明。)

【揚石会長】 (委員に事務局説明への質疑を求める。)

【揚石会長】 市民啓発講座は何会場で開催したのか。

- 【細谷係長】 地域自治区 28 区ごとに 4 回開催し、ケアマネジャー、ケアマネ協議会の役員、柔道整復師会の方々に協力いただいた。
- 【田中（公）委員】 市民啓発講座は周知方法を工夫すると良かったと思う。認知症の方が運転を止めた後の支援には具体的にどのような方法があり、会議等でどのような協議がされているのか。
- 【細谷係長】 市民啓発講座については、来年度は 4 月当初から計画し、市民の皆さんが参加しやすい日程になるよう検討していく。
認知症で免許を返納した方の支援については、市の運転免許返納後の支援制度もあるが、地域ケア会議の中で地域の実情に応じて地域住民で支え合うような方法等について協議している。
- 【原副会長】 介護保険制度やその他の福祉サービスについて、若い世代の方への周知啓発が今後の課題になっていくのではないかと感じており、そのことについて市としてどのように考えているか。
認知症初期集中支援チームにおいて、早期支援または若年性認知症のコーディネーターの設置など、市としてどのように考えているか。
- 【細谷係長】 市民啓発講座は、介護保険制度や地域にあるサービスや支援者を知ってもらうことも目的としているため、若い世代の方からも出席していただきたい。認知症初期集中支援チームは、相談の半分以上が医療機関から認知症の診断を受けている。本人、家族の状況により、地域支え合い事業の紹介や、家族が認知症の方の接し方について不安がある場合は認知症地域支援推進員が引き継いで家庭訪問している。若年性認知症コーディネーターについては、県から委託を受け、認知症疾患医療センターに配置されることになっている。

2 平成 30 年度地域包括支援センター委託業務(案)について

- 【事務局】 (資料 2-1~2-3 により説明。)
- 【揚石会長】 以前の会議でサテライト型に配置する職種は社会福祉士を考えているという話だったが、現状はどうなっているか。
- 【細谷係長】 受託予定法人から社会福祉士を配置すると報告を受けている。
- 【揚石会長】 サテライト型になるとこれまでの配置人数は減ってしまう包括があるが、市民説明会の中で住民から不安の声は聞かれなかったか。
- 【細谷係長】 平成 30 年度以降もこれまでと同様の体制、または一人の職員が 2 か所を兼務する形等を検討しており、市民説明会の中で地域の方々から納得していただいている。
- 【原副会長】 これまで看護師が配置されていた包括も、来年度からは保健師の配置になるのか。
- 【細谷係長】 事前に保健師の配置が困難という相談をいくつかいただいているが、受託予定法人から保健師の配置となるように募集を続けるという報告を受けている。

3 地域包括支援センターの再配置について

- 【事務局】 (資料 3-1~3-2 により説明)
(質疑なし)

4 その他

- 【揚石会長】 全般を通して、委員から一人ずつ期待や要望などいただきたい。

- 【入倉委員】 平成 30 年度から民間企業が新しく地域包括支援センターになると決まっているので、そちらとも連携を図り、抱え込むことがないように中立公正を目指してもらいたい。
- 【山田委員】 地域ケア会議について、毎回同じ参加者になっていると感じるので、地域住民の方からも参加していただいた方がいいと思う。
- 【木梨委員】 地域包括支援センターの対応について温度差があると感じているので、一定にしていきたい。
- 【田中(美)委員】 新たに受託予定法人が担当となる地域は、住民の方とのコミュニケーションが大変だと思うが、今までのような地域に密着した地域包括支援センターを目指していきたい。
- 【竹内委員】 まだまだ地域包括支援センターを知らない方が多く、住民と包括の間の温度差がなくなるようにしてほしい。また、包括と民生委員との連携が良くなるとうい。
- 【馬場委員】 合併前上越市の地域の各包括から地区民児協の定例会等に参加していただき、情報共有を図れるようお願いしたい。市から包括に対して要請していただくとありがたい。
- 【杉田委員】 受託法人が変わる地域では、これまで配置されていた職員が変わることで、住民の中で戸惑う方もいると思う。他の地域に興味を持ち、地域の声を聞くようにしたい。
- 【佐藤委員】 地域にある様々な福祉活動やボランティア活動、地域活動をされている組織、団体、個人の方々と共に地域づくりを行うという目線で活動していきたい。
- 【片岡委員】 成年後見制度のより一層の普及を図っていただきたい。制度の相談を受ける中で、本人の権利を奪っていく等のマイナスイメージが多いのが現状であり、制度を利用することのメリットを伝えてほしい。
- 【青山委員】 市から地域ケア会議の開催時間、曜日等の調整について、包括に通知していただき、歯科医師会の口腔ケア、介護支援専門員への研修会、市民への口腔ケア、市の健康講座への出前講座等について広報活動もお願いしたい。
- 【押山委員】 自立支援に向けた地域ケア会議がより一層開催されると良い。
- 【田中(公)委員】 柔道整復師会の中に地域ケア会議に参加したいという会員もいるので、地域包括支援センターから呼びかけていただくとともに、今まで以上に若い方が出席するようになればいい。
- 【原副会長】 ケアマネジャー支援については、自立支援の視点を持ったケアプラン点検となるよう市から指導していただきたい。
- 【揚石会長】 今回出た意見は、今後の業務の引き継ぎの中で伝えてほしい。市、運営協議会の委員は、包括のお目付け役ではなく応援部隊だと思う。
- 【事務局】 今、皆さまから頂戴した意見は、新しい法人に伝え、市としても一層気を引き締めて取組を進めていきたい。

9 問い合わせ先 健康福祉部高齢者支援課介護指導係
TEL : 025-526-5111 E-mail : koureisya@city.joetsu.lg.jp

10 その他 別添の会議資料も併せて御覧ください。